（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	発達支援センターはる

公表日　令和７　年　8月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		年齢や活動水準に合わせてスペースを確保しています。	個別指導の個室を複数用意しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		常勤換算を2名以上超えるスタッフで対応し、専門職の配置を行っています。	職員の専門性に基づいて配置などは行っています。 職員の休暇に伴う補充については課題です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		場所に仕切りやスペースを作り活動しやすいようにしています。	施設はバリアフリーとなっており、乳幼児からからだの不自由な子どもたちまで、対応が可能です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔保持に努め安全面の配慮も行っています。	継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	○		年齢や活動水準に合わせてスペースを確保しています。	継続していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		業務改善に対する意識は持ちつつ、職員全体での統一した意識づくりはまだ途上です	意識して取り組んでいきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な会議を実施し、意見聴取に努めています。	継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回休所しての全体会議、就2回の職員会議、週1回の運営会議、そのほかに毎日朝会、昼会議などを実施しています。	個人面談などを定例として、継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		外部評価については、未実施であり、現在検討中です。	今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間研修計画に基づき新人教育や専門職の研修などを実施しています。	今後も継続していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	○		実施し公表しています。	今後も継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者からの聞き取りを行うとともに、客観的なツールとして発達検査などを実施しながら、日常的なこどもとの関わりや対話などからアセスメントの重要性を大切に実施しています。	今後も継続していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員の認識を共有し話し合いながら進めています。	今後も継続していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員の認識を共有し話し合いながら進めています。	今後も継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		客観的なツールとしてフォーマルな発達検査などを実施しながら、日常的なこどもとの関わりや対話などからアセスメントの重要性を大切に実施しています。	今後も継続していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達ガイドラインに遵守しながら、専門職員のアセスメント結果なども盛り込んだ内容にしています。	今後も継続していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々の振り返りや反省、グループごとの打ち合わせなどを通じて確認しながら実施しております。	今後も継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個別指導、グループ指導を通じて支援の方向はチームで検討し実施しています。	今後も継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		年間計画を作成し、個別指導、グループ指導を通じて支援の方向はチームで検討し実施しています。	今後も継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		1人1人の状況と必要性に基づき活動内容や療育内容を考え、個別支援計画に明記しています。	今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		療育開始時間の始業開始と午後の開始時間2回実施しています。	今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		実施しています。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		実施しています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		実施しています。	パートで退勤職員には、後日情報伝達が可能となるように配慮しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		小児科医師による内科健診を年2回実施しております。他機関との連携では、児発管か担当職員の出席を行うように努めています。	継続していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		5歳児相談・子育て会議・その他子どもに関わる情報提供の場に参画しています。	継続していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		他の医療機関との連携は必要に応じて整えております。	継続していきます。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		情報交換、サービス調整会議・ケース会議などの必要性を重視し、会議には欠かさずに参加しています。	継続していきます。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		情報交換、サービス調整会議・ケース会議に参加しています。小児科医師や整形外科医師との連携を図り、子どもに必要な研修への参加勧奨を行っています。また、当センター主催の研修会の企画も行っています。	継続していきます。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		子ども部会への参加など、協力しています。	継続していきます。
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		保育園の地域開放の行事にはお誘いを受けて参加することが過去にはあったのですがコロナ過により消滅しております。	連携できるように努めてまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		子どもの成長と発達の様子や今の課題などは、その都度話し合っています。	継続していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者支援は、実際に体験したことや発達的な視点から文献学習などを実施し、レクチャーなどで実施しています。	継続していきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に利用の説明に基づいて実施しています。	継続していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○		実施しています。	継続していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		実施しています。	継続していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		実施しています。	継続していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		会自体が存在してはいませんが、保護者との共通理解を深められるよう電話や面談懇談などで発信し努めております。	継続していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者との共通理解を深められるよう電話や面談懇談などで発信し努めております。	継続していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月欠かさず通信を発行しています。ホームページにも掲載し、また、別紙で予定表の提出もお願いしております。	継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員の規定を設け、マニュアルも作成し実施しております。	継続していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		情報が伝達しやすいように視覚情報や紙面など個々に合った方法を取り入れたりしています。	継続していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		行事のお楽しみ会については地域の方の参加の呼びかけも行うこととしていましたが、コロナ過で実現できていません。	継続していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し年1階の新年度開始時会議に手周知しています。	職員全員に周知していますが、より分かりやすく現実的に適応しやすくなるように努めます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		非常災害等につきましては、千歳市内全体の方針に基づき作成しております。	職員全員に周知していますが、より分かりやすく現実的に適応しやすくなるように努めます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に聞き取りを実施し、状況が変わったときにはその都度確認しています。マニュアルを作成しております。	継続していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時及び、おやつ開始時給食開始時にアレルギーについて確認しています。アレルギーのある子どもについては必要に応じて診断書の提出を依頼しています。	継続していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年度初めに、安全に関する研修などの機会に盛り込んでいます。	継続していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		契約時に、児を取り巻く危機回避などについては家族と連携を図っています。	今後は、マニュアル化しての周知を行います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		実施しています。	継続していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		実施しています。	継続していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		記載しています。	継続していきます。